

WALTER SCOTT

➤ BNY MELLON | INVESTMENT MANAGEMENT

ウォルター・スコット 優良成長企業ファンド (資産成長型)

追加型投信／内外／株式

お申込みの際は必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

目論見書のご請求・お申込みは…

Rakuten 楽天証券

〈販売会社〉

商号等 楽天証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

設定・運用は…

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

〈委託会社〉

商号等 大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

お客さまの長期資産運用に適した

ウォルター・スコット優良成長企業ファンド

Point

1

ウォルター・スコット社の助言を受け世界の優良成長企業の株式に厳選投資

Point

2

個人投資家向けとして、本邦初販売
35年以上の運用実績
のある運用戦略

Point

3

ダウンサイドリスクを抑制しつつ、
長期にわたる安定的な株式リターンの
確保を目指します



WALTER SCOTT

スコットランドの資産運用会社 「ウォルター・スコット」



スコットランド屈指の資産運用会社

ウォルター・スコット社は1983年、スコットランドのエジンバラにて創業されました。

創業者であるウォルター・スコットは独自の運用理念と運用スタイルを当初は主に北米の機関投資家を中心に展開し、徐々にグローバルに事業を拡大してきました。創業時より徹底したリサーチに基づき

「持続的な富の創出」に着眼した銘柄選択を行なうアプローチを貫き、持続的な成長を遂げる世界の優良企業に投資を行なっています。

スコットランド

ウェールズ

イングランド

エジンバラ

ロンドン

エジンバラ

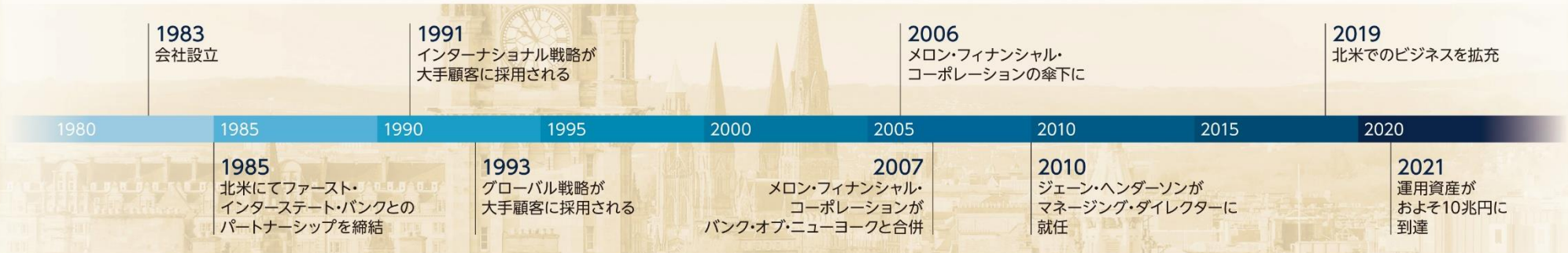


ウォルター・スコット社のオフィス

ウォルター・スコット社の特徴

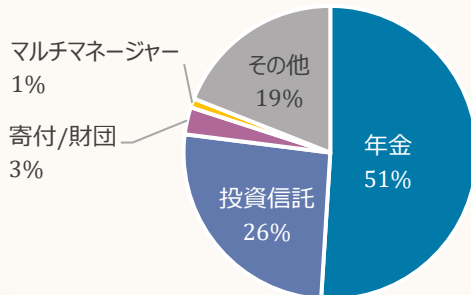
- 「長期的に顧客の資産を保全し、成長させる」運用を提供することを会社の唯一の目標とする
- 「企業の生み出す価値が株式リターンに反映される」という信念のもと、世界の優良企業を発掘し投資
- 「誠実性、一貫性、継続性」という企業文化で、顧客第一の経営と優れた投資リターンを目指す
- グローバル株式運用に経営資源を集中し、1983年の創業以来変わらない運用哲学と運用プロセス

歴史

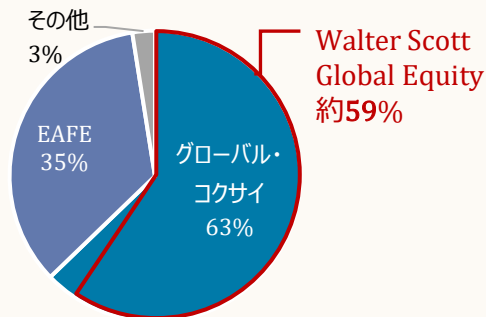


ウォルター・スコット社はその安定した運用が評価され、世界中の年金基金に採用されてきました。運用資産約10兆円のうち、旗艦戦略である「Walter Scott Global Equity (当ファンドの類似戦略)」は、運用資産全体の5割以上を占めています。

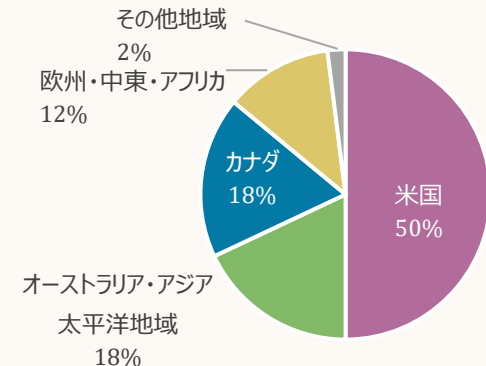
顧客属性別



投資戦略別



投資国・地域別



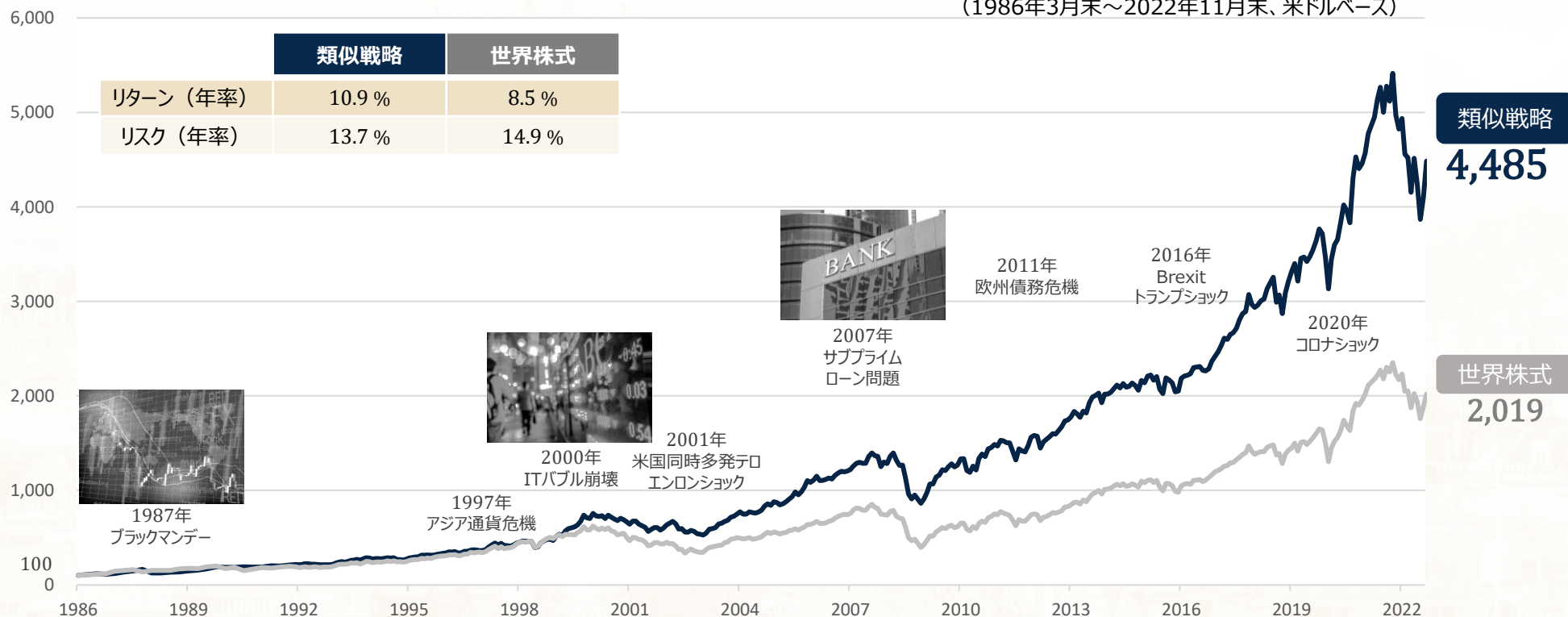
※当資料中のいかなる内容も将来の成果を示唆・保証するものではありません。裏表紙の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧ください。
※上記データは、四捨五入の関係で比率の合計が100%にならない場合があります。

35年以上にわたる長期の優れた運用実績

数多くの相場危機を乗り越え、35年以上の運用期間において年率10%以上の成長を実現してきました。

類似戦略のパフォーマンス

(1986年3月末～2022年11月末、米ドルベース)

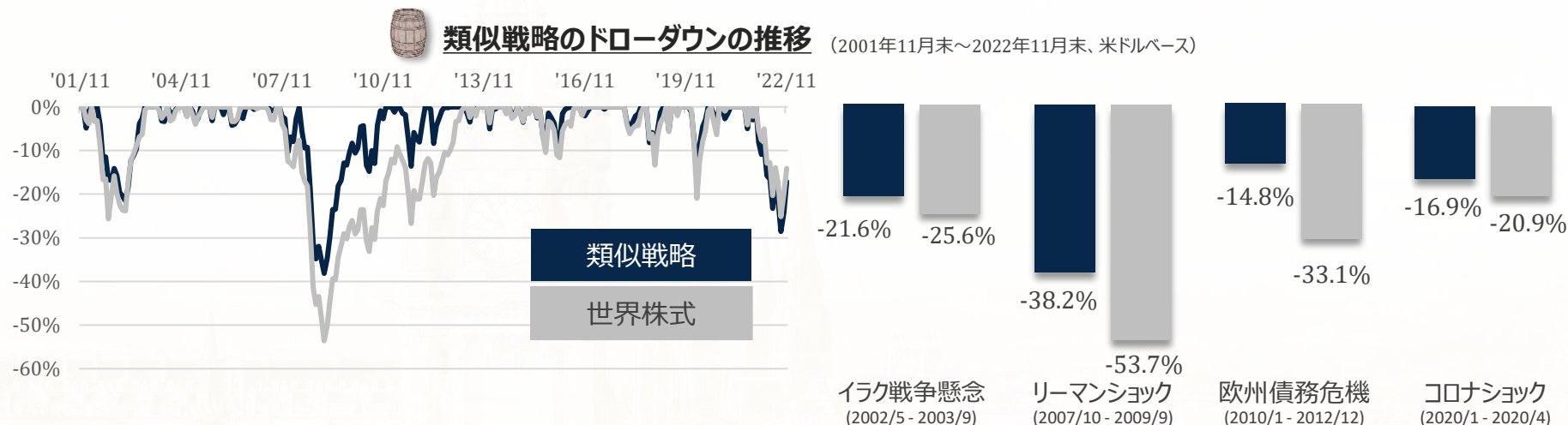


※1986年3月末を100として指数化、1992年以前は四半期データを使用、リスクは1992年以降のデータをもとに算出。※類似戦略はコンポジットパフォーマンス（費用控除前）。
 ※世界株式はMSCI World トータルリターンを使用しています。MSCI Worldは当ファンドのベンチマークではありません。※画像はイメージです。※類似戦略は、当ファンドと同様の運用手法を用いた類似ファンドの過去の実績を示したものであり、当ファンドの実績とは異なります。また、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。

(出所) ブルームバーグ、ウォルター・スコット、BNYメロン・インベストメント・マネジメント

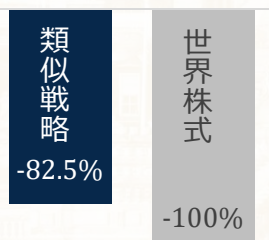
ドローダウン推移 & 下落抑制

ウォルター・スコットの運用は、弱気相場や市場混乱時に下落抑制効果を発揮し、市場の下落局面でも類似戦略はマーケットと比べ下落率を抑制してきました。



類似戦略のダウンサイド・キャプチャー・レシオ

(2002年11月～2022年11月、米ドルベース)



過去20年間のドローダウンの推移から、市場の大幅な下落局面でのウォルター・スコットが運用する類似戦略の強さが見て取れます。



ダウンサイド・キャプチャー・レシオとは、期間内において相場の下落が起こったとき、対象指数の下落幅を-100%とした場合に、ファンドが対象指数と、どの程度連動していたかを示す指標です。過去20年間では類似戦略は市場の下落時、市場のパフォーマンスと比べ、約83%の下落にとどまっています。

※類似戦略はコンボジットパフォーマンス（費用控除前）。※世界株式はMSCI World トータルリターンを使用しています。MSCI Worldは当ファンドのベンチマークではありません。※類似戦略は、当ファンドと同様の運用手法を用いた類似ファンドの過去の実績を示したものであり、当ファンドの実績とは異なります。また、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。

(出所) ブルームバーグ、ウォルター・スコット、BNYメロン・インベストメント・マネジメント

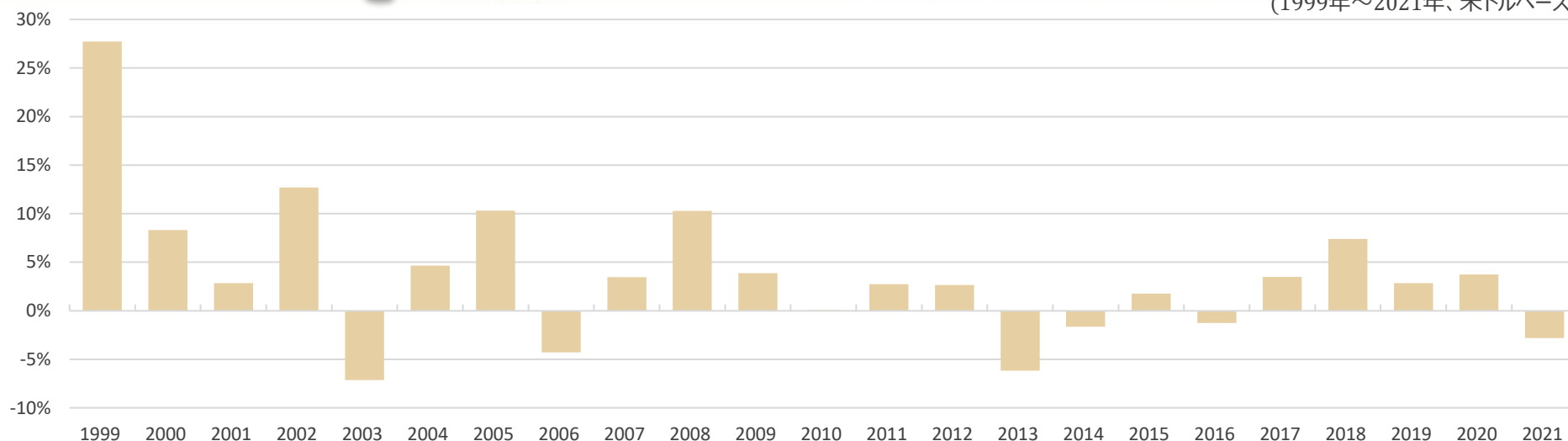
年間騰落率

一貫した運用プロセスを用いた運用を継続的に行なってきた結果、類似戦略は着実にパフォーマンスを積み上げてきました。



類似戦略の世界株式に対する超過リターン

(1999年～2021年、米ドルベース)



| 類似戦略 (A) | 53.1% | -4.6% | -13.7% | -6.8% | 26.6% | 19.9% | 20.3% | 16.4% | 13.0% | -30.1% | 34.7% | 12.4% | -2.3% | 19.2% | 21.2% | 3.9% | 1.4% | 6.9% | 26.6% | -0.8% | 31.2% | 20.2% | 19.5% |
|------------------|-------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 世界株式 (B) | 25.3% | -12.9% | -16.5% | -19.5% | 33.8% | 15.2% | 10.0% | 20.7% | 9.6% | -40.3% | 30.8% | 12.3% | -5.0% | 16.5% | 27.4% | 5.5% | -0.3% | 8.2% | 23.1% | -8.2% | 28.4% | 16.5% | 22.3% |
| 超過リターン (A) - (B) | 27.7% | 8.3% | 2.9% | 12.7% | -7.2% | 4.6% | 10.3% | -4.3% | 3.5% | 10.3% | 3.9% | 0.0% | 2.7% | 2.6% | -6.2% | -1.7% | 1.8% | -1.3% | 3.5% | 7.4% | 2.8% | 3.7% | -2.8% |

※類似戦略はコンポジットパフォーマンス（費用控除前）。※世界株式はMSCI World トータルリターンを使用しています。MSCI Worldは当ファンドのベンチマークではありません。
 ※四捨五入の関係で数値の合計が一致しない場合があります。※類似戦略は、当ファンドと同様の運用手法を用いた類似ファンドの過去の実績を示したものであり、当ファンドの実績とは異なります。また、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。

(出所) ブルームバーグ、ウォルター・スコット、BNYメロン・インベストメント・マネジメント

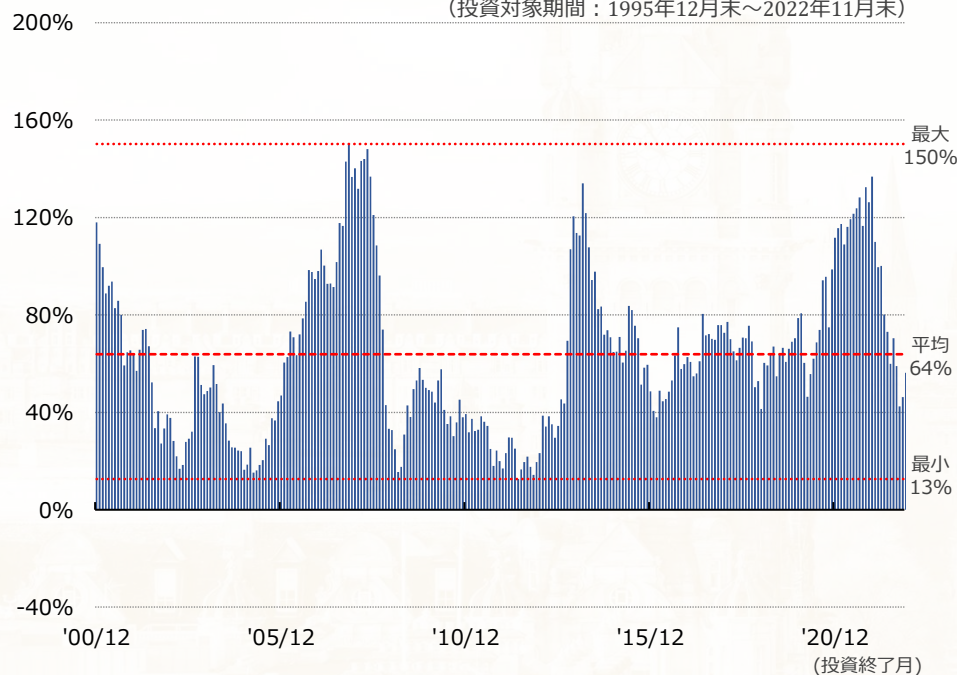
5年ローリングリターン

類似戦略を5年間保有した場合、過去20年以上すべての期間でプラスのリターンとなりました。



類似戦略を5年保有した場合の累積リターン

(投資対象期間：1995年12月末～2022年11月末)



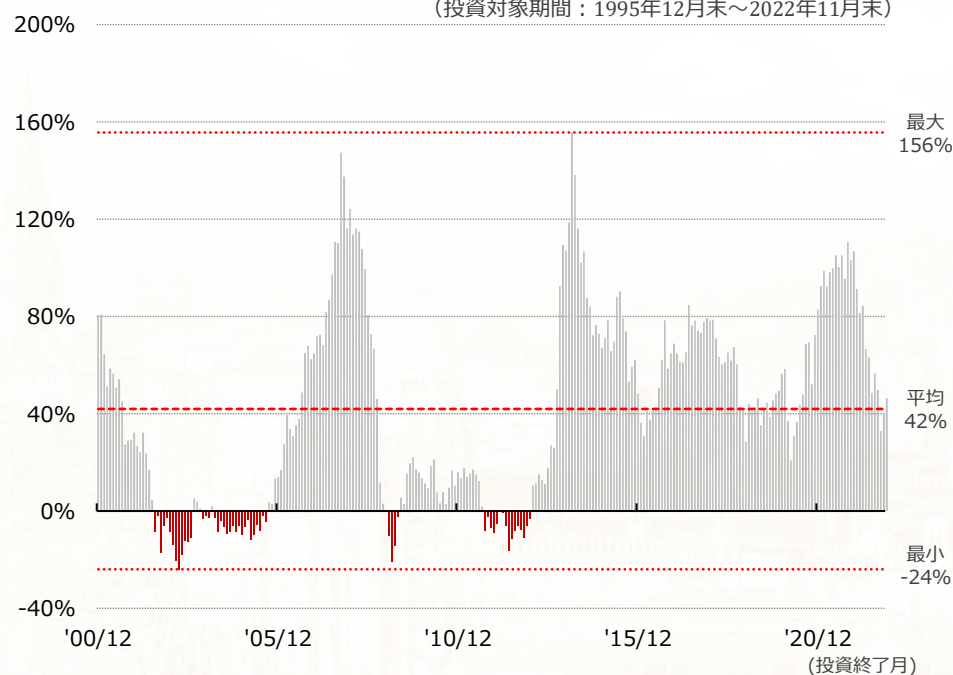
※1995年12月末～2022年11月末の期間の月次リターンデータを基に、各基準月から5年間継続保有したと仮定した場合の累積リターン（米ドルベース）。

※類似戦略はコンポジットパフォーマンス（費用控除前）。※世界株式はMSCI World トータルリターンを使用しています。MSCI Worldは当ファンドのベンチマークではありません。
 ※類似戦略は、当ファンドと同様の運用手法を用いた類似ファンドの過去の実績を示したものであり、当ファンドの実績とは異なります。また、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。



世界株式を5年保有した場合の累積リターン

(投資対象期間：1995年12月末～2022年11月末)



※1995年12月末～2022年11月末の期間の月次リターンデータを基に、各基準月から5年間継続保有したと仮定した場合の累積リターン（米ドルベース）。

(出所) ブルームバーグ、ウォルター・スコット、BNYメロン・インベストメント・マネジメント

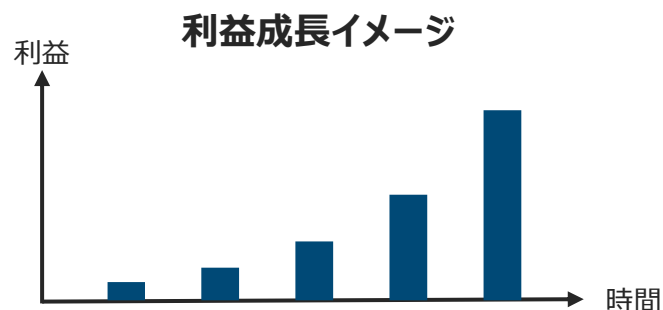
「持続的な富を創出」する銘柄を長期保有

「長期的に顧客の資産を保全し、成長させる」という目標のもと、持続的にひととき優れた成長が見込まれる世界の優良企業へ投資します。

ウォルター・スコットの運用手法

- ① 優良な成長企業に投資・・・ 本業を通じて長期的・持続的に高い水準の富(価値)を創出する企業を厳選
- ② 長期保有・・・ 『企業の利益成長 = 株式リターン』を複利的に享受するため長期保有を前提とした投資
- ③ 投資先企業の点検・・・ ポートフォリオ組入れ企業に対して積極的・長期的に関与

持続的な富(利益等)を創出する企業へ投資



長期保有

類似戦略の平均保有期間*

13.2年

(ご参考)

過去5年間(2017年1月～2021年12月)

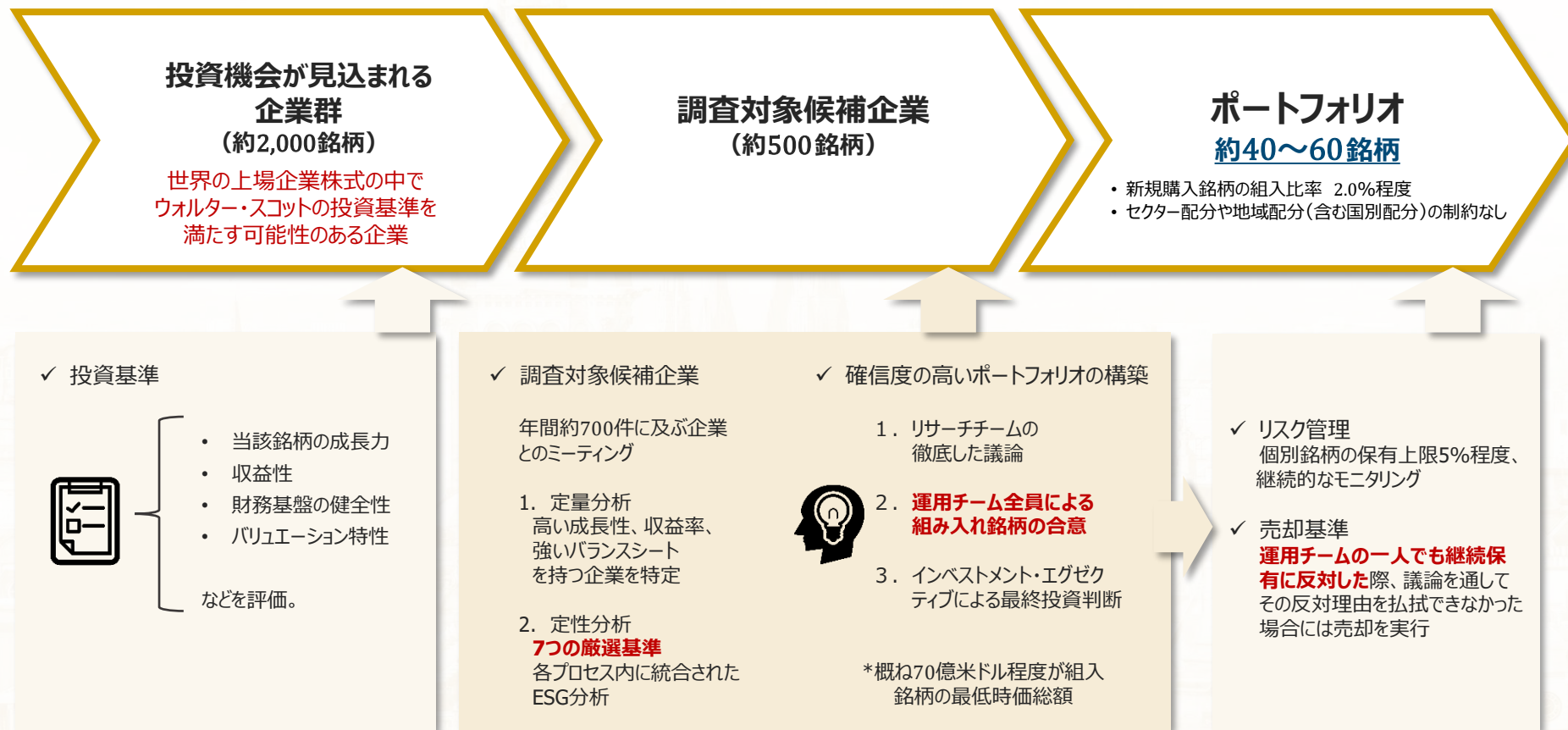
銘柄回転率平均：6.9%

* 平均保有期間は2021年12月末から過去10年間の銘柄回転率のデータを基に算出。※類似戦略はコンポジットパフォーマンス(費用控除前)。

※類似戦略は、当ファンドと同様の運用手法を用いた類似ファンドの過去の実績を示したものであり、当ファンドの実績とは異なります。また、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。

銘柄選定プロセス

新たにポートフォリオに組み入れられる銘柄は、下記のプロセスを経て、運用チームメンバー全員の合意により決定がなされます。



(出所) ウォルター・スコット、BNY Mellon・インベストメント・マネジメント

ウォルター・スコット独自の7つの厳選基準

ウォルター・スコットが投資を行なう企業は、財務基盤が強固で、持続的な成長率が高く、長期的に安定した収益を伸ばす能力を備えた世界をリードする企業です。

その選定の際には、下記の7つの着眼点に基づいた分析を行います。

| | | |
|----|-------------|--|
| 1. | 企業戦略の自律性 | ✓ 市場シェアと競合企業、事業再編に対する積極性、競争優位性と参入障壁、価格決定力、顧客やサプライヤーの集中度、(他企業による)代替リスク |
| 2. | 市場における地位 | ✓ 企業規模、成長力、景気変動への耐性、組織構造、規制、持続可能性(サステナビリティ) |
| 3. | マネジメント・取締役会 | ✓ 経験と在籍年数、多様性、報酬 |
| 4. | 企業を取り巻く状況 | ✓ 会社の沿革、事業内容、部門別/地域別の組織体制、顧客事例、事業拠点 |
| 5. | 誠実性(ESG) | ✓ ESG上の検討課題、株主構成と議決権、インサイダーセリング(経営陣等による株式売却)、利害関係者との取引、自己株式の扱い、毒薬条項(ポイズンピル)の導入 |
| 6. | 財務状況 | ✓ 収益構造、キャッシュフロー、財務諸表 |
| 7. | バリュエーション | ✓ 株価バリュエーション、時価総額、流動性、流通している株式の種類 |

(出所) ウォルター・スコット、BNY Mellon・インベストメント・マネジメント

運用チームによる徹底的な精査

個別銘柄の購入・売却に際してはチームでの議論を丁寧に行なっています。
銘柄の購入は、チームメンバー全員の合意が必要です。一方、継続保有に誰かひとりでも抱いた疑念が晴らせない場合に売却を行なうという意思決定形態を取っています。

購入時

全員の合意が必要

売却時

1人の売却提案を覆せない
保有比率の上昇 等

運用チーム

インベストメント・エグゼクティブ



27年

Jane Henderson★
マネージング・ダイレクター



27年

Roy Leckie★
インベストメント・ダイレクター



31年

Charlie Macquaker★
インベストメント・ダイレクター



Joseph Friedland★



Ashley-Jane Kyle



Des Armstrong★



Alistair Ceurvorst



Laura Clark★



Matthew Gerlach★



Fiona MacRae



Tom Miedema



Alan Edington



Lindsay Scott



Maxim Skorniakov★



Michael Scott★



Alex Torrens★



Fraser Fox★



Alan Lander★



Jamie Zegleman★



Sasha Thompson★



Connor Graham

新卒を一から育て上げ、7-8年目に運用のプロとなるようジョブローテーションが行なわれます。

人材定着率が非常に高く、運用チームのメンバーの大半が「ウォルター・スコット在籍年数 = 業界経験年数」となっています。

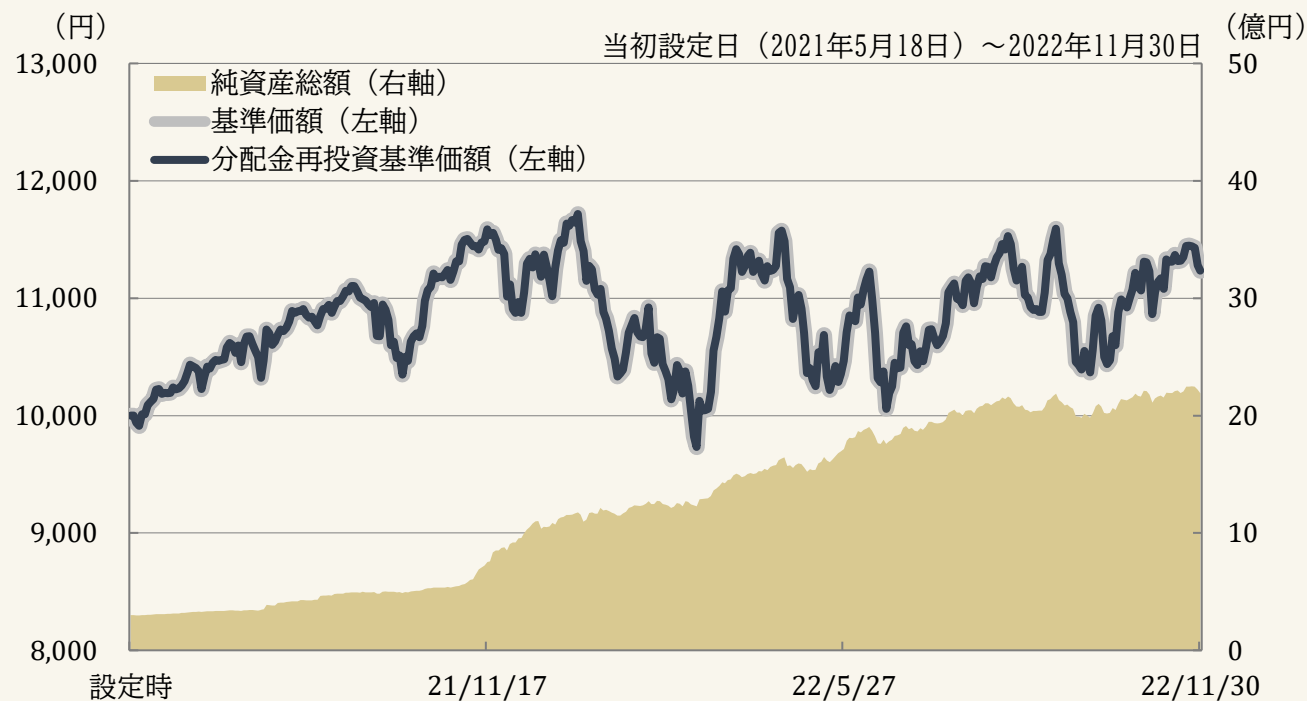
そのため、会社の運用哲学やカルチャーが継承され、次世代の人材が育っています。

★：「在籍年数 = 業界経験年数」であるメンバー

(出所) ウォルター・スコット、BNY Mellon・インベストメント・マネジメント

当ファンドの運用状況① (基準日：2022年11月30日)

基準価額・純資産総額の推移



| | |
|-------|---------|
| 基準価額 | 11,234円 |
| 純資産総額 | 21億円 |

分配の推移 (1万口当たり、税引前)

| | |
|--------------|------------------------------|
| 決算期 (年/月) | 第1期~第3期 (‘21/11)~(‘22/11) |
| 分配金合計額 | 0円 |

期間別騰落率

| 期間 | ファンド |
|------|--------|
| 1カ月間 | -0.7% |
| 3カ月間 | +2.8% |
| 6カ月間 | +3.5% |
| 1年間 | +1.0% |
| 3年間 | --- |
| 5年間 | --- |
| 年初来 | -3.7% |
| 設定来 | +12.3% |

※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています（ファンドの費用をご覧ください）。※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

当ファンドの運用状況② (基準日：2022年11月30日)

資産別構成

| 資産 | 銘柄数 | 比率 |
|-------------|-----|--------|
| 外国株式 | 44 | 90.4% |
| 国内株式 | 3 | 5.5% |
| コール・ローン、その他 | | 4.0% |
| 合計 | 47 | 100.0% |

業種別構成

| 合計96.0% | |
|----------------|-------|
| 業種名 | 国・地域名 |
| 情報技術 | 32.4% |
| ヘルスケア | 21.0% |
| 一般消費財・サービス | 12.8% |
| 資本財・サービス | 10.7% |
| 生活必需品 | 7.2% |
| 素材 | 5.0% |
| 金融 | 3.5% |
| コミュニケーション・サービス | 3.4% |

組入上位10銘柄

| 合計29.8% | | | 比率 |
|-------------------------------|-------|------------|------|
| 銘柄名 | 国・地域名 | 業種名 | 比率 |
| ノボ・ルディスク | デンマーク | ヘルスケア | 3.9% |
| アンフェノール | 米国 | 情報技術 | 3.4% |
| リンデ | 米国 | 素材 | 3.2% |
| オートマチック・データ・ プロセッシング (ADP) | 米国 | 情報技術 | 3.1% |
| アリマンタシオン・クシュタール | 米国 | 生活必需品 | 3.1% |
| テキサス・インスツルメンツ | 米国 | 情報技術 | 2.8% |
| マイクロソフト | 米国 | 情報技術 | 2.7% |
| マスターカード | 米国 | 情報技術 | 2.7% |
| TJX | 米国 | 一般消費財・サービス | 2.6% |
| ジョンソン & ジョンソン | 米国 | ヘルスケア | 2.5% |

※比率は、純資産総額に対するものです。※業種名は、S&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準 (GICS) の産業分類によるものです。※外国株式の国・地域名については、原則としてMSCI Inc.が提供するリスク所在国・地域に基づいて表示しています。※上記データは、四捨五入の関係で合計の数値と一致しない場合があります。※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

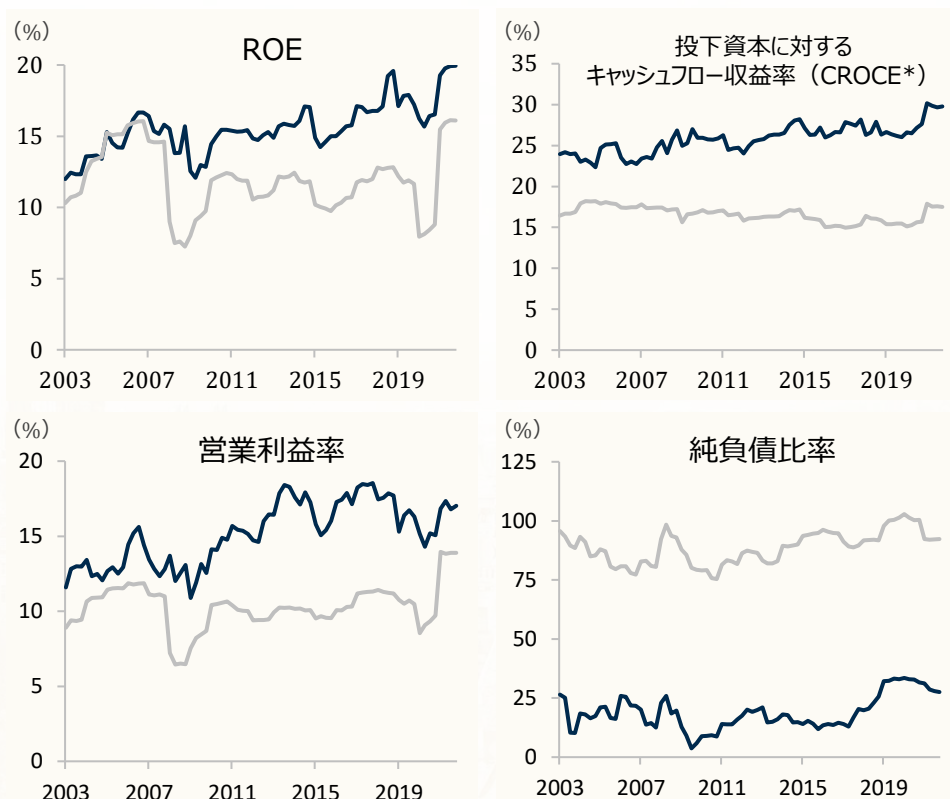
当資料中のいかなる内容も将来の成果を示唆・保証するものではありません。裏表紙の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧ください。

(ご参考) 類似戦略のポートフォリオ特性値

特性値 (2022年9月末時点)

| | 類似戦略 | 世界株式 |
|-------------|-------|-------|
| ROE | 20.0% | 16.1% |
| CROCE* | 29.8% | 17.5% |
| 営業利益率 | 17.0% | 13.9% |
| 純負債比率 | 27.5% | 92.3% |
| PER | 22.5倍 | 16.3倍 |
| 配当利回り | 1.6% | 2.3% |
| アクティブ・シェア** | 87% | - |

特性値の推移 (2003年12月末～2022年9月末)



* 投下資本に対するキャッシュフロー収益率 (CROCE) = 営業CF / (正味流動資産 + 固定資産 + 営業権 + 無形固定資産)

** アクティブ・シェアは、投資信託の中身が、その投資信託が参考としている指数の中身とどの程度違うかを示す数値の一つで、0%から100%の間の数字で表されます。数値が高いほど、独自の運用を行なっていることを示します。

※類似戦略はグローバルポートフォリオ代表口座。※世界株式はMSCI World トータルリターンを使用しています。MSCI Worldは当ファンドのベンチマークではありません。

※類似戦略は、当ファンドと同様の運用手法を用いた類似ファンドの過去の実績を示したものであり、当ファンドの実績とは異なります。また、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。

(出所) ブルームバーグ、ウォルター・スコット、BNYメロン・インベストメント・マネジメント

当資料中のいかなる内容も将来の成果を示唆・保証するものではありません。裏表紙の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をご覧ください。

30年以上にわたって継続保有している銘柄例



類似戦略の事例

オートマチック・データ・プロセッシング(ADP)

業務委託(アウトソーシング)ソリューションを世界的に展開。
人事、給与、福利厚生などの管理ソリューション・サービスを手掛ける。

| 国・地域名 | 業種名 |
|-------|------|
| 米国 | 情報技術 |

投資理由

- ADPの月次調査は、民間の雇用統計ともいわれるほど注目され、同社が給与管理のマーケットにおいて、いかに重要な役割を果たしているかを表す。
- 同社のコアビジネスである給与管理サービスでは寡占化が進んでおり、価格競争が激しい市場ではない。
- 同社の財務データは強固であり、株主への富の創出を具現化。長期的に年率20%以上の利益率を確保できる確信度は高いと判断。

株価の推移と購入時期



※業種名は、S&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準（GICS）の産業分類によるものです。※類似戦略は、当ファンドと同様の運用手法を用いた類似ファンドの過去の実績を示したものであり、当ファンドの実績とは異なります。また、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。

(出所) ブルームバーグ、ウォルター・スコット、BNYメロン・インベストメント・マネジメント

エンゲージメント事例のご紹介

類似戦略の事例

インテュイティブサージカル

手術設備メーカー。内視鏡超音波カッター、その他の手術用具を製造する。遠隔手術ロボットシステム「ダヴィンチ」で知られる。2021年には、同社の技術を利用して行なわれた手術が累計1,000万件を突破した。

| 国・地域名 | 業種名 |
|-------|-------|
| 米国 | ヘルスケア |

ESG活動の改善

- 従来よりも患者への負担が軽く、結果的に医師や病院の負荷も軽減される技術を開発。社会的意義が高く、かつ高成長も期待できる医療機器部門の銘柄であると判断し、2013年9月に投資開始。
- 同社を「製品に対する安全性や品質・情報開示が十分でない」と評価していた格付会社もあったが、ウォルター・スコットは医療関係者等への綿密な調査を行なった結果、製品の安全性と品質に関する懸念は十分に対処されていると判断。
- 経営陣への継続的な面談を通じて、ESG活動推進や対外的なアピールを提言。同社初となるサステナビリティレポートの作成を長期的にサポートし、レポート創刊後もフィードバックを行なうなど継続的に関与を行なった。
- これらの活動の成果もあり、同社のESGに関するマーケットからの評価が改善。また、カーボンリスクへの対応等の高度なESGの取り組みに向けてエンゲージメントを続ける。

株価の推移と購入時期



※業種名は、S&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準（GICS）の産業分類によるものです。※類似戦略は、当ファンドと同様の運用手法を用いた類似ファンドの過去の実績を示したものであり、当ファンドの実績とは異なります。また、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。

(出所) ブルームバーグ、ウォルター・スコット、BNYメロン・インベストメント・マネジメント

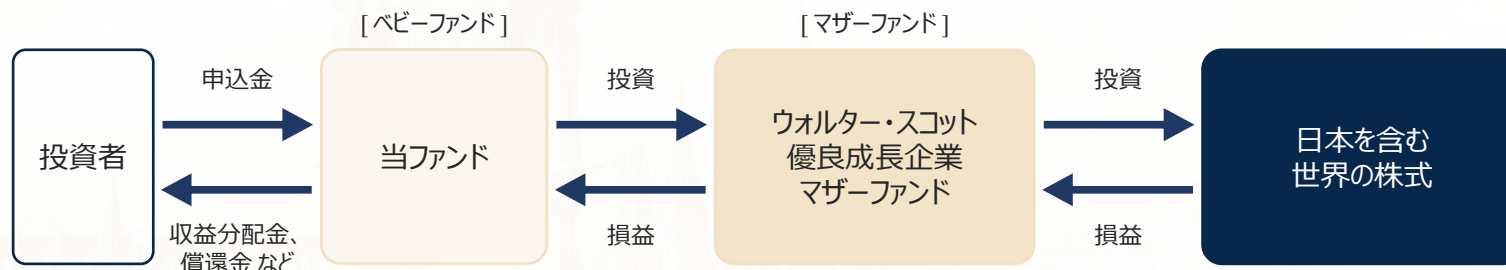
当資料中のいかなる内容も将来の成果を示唆・保証するものではありません。裏表紙の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧ください。

ファンドの特色

1 日本を含む世界の株式の中から、持続的な成長力を有すると判断される企業の株式に投資します。

※不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券に投資することがあります。

2 運用にあたっては、ウォルター・スコット・アンド・パートナーズ・リミテッドから助言を受けます。



大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、ファンドの特色 1. および 2. の運用が行なわれないことがあります。

3 毎年5月17日および11月17日(休業日の場合、翌営業日)に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

分配方針

- ◆ 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とします。
- ◆ 原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

投資リスク

※くわしくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。**
- **投資信託は預貯金とは異なります。**

〈主な変動要因〉

| | |
|------------------------|--|
| 株価の変動 価格変動リスク・信用リスク | 株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。組入銘柄の株価が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。 新興国の証券市場は、先進国の証券市場に比べ、一般に市場規模や取引量が小さく、流動性が低いことにより本来想定される投資価値とは乖離した価格水準で取引される場合もあるなど、価格の変動性が大きくなる傾向が考えられます。 |
| 為替変動リスク | 外貨建資産については、資産自体の価格変動のほか、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。 組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。 特に、新興国の為替レートは短期間に大幅に変動することがあり、先進国と比較して、相対的に高い為替変動リスクがあります。 |
| カントリー・リスク | 投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難となることがあります。 新興国への投資には、先進国と比べて大きなカントリー・リスクが伴います。 |
| その他 | 解約資金を手当てするため組入証券を売却する際、市場規模や市場動向によっては市場実勢を押下げ、当初期待される価格で売却できないこともあります。 この場合、基準価額が下落する要因となります。 |

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。
これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付けが中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。

リスクの管理体制

- 委託会社では、取締役会が決定した運用リスク管理に関する基本方針に基づき、運用本部から独立した部署および会議体が直接的または間接的に運用本部へのモニタリング・監視を通し、運用リスクの管理を行います。
- 委託会社では、流動性リスク管理に関する規程を定め、ファンドの組入資産の流動性リスクのモニタリングなどを実施するとともに、緊急時対応策の策定・検証などを行います。
- 取締役会等は、流動性リスク管理の適切な実施の確保や流動性リスク管理態勢について、監督します。

お申込みメモ/ファンドの費用

※くわしくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

| | |
|--------------------|---|
| 購入単位 | 最低単位を1円単位または1口単位として販売会社が定める単位 |
| 購入・換金価額 | 購入・換金申込受付日の翌営業日の基準価額(1万口当たり) |
| 換金代金 | 原則として換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。 |
| 申込受付中止日 | ① ニューヨーク証券取引所またはロンドン証券取引所の休業日 ② ①のほか、一部解約金の支払い等に支障を来すおそれがあるとして委託会社が定める日 (注) 申込受付中止日は、販売会社または委託会社にお問い合わせください。 |
| 申込締切時間 | 午後3時まで(販売会社所定の事務手続きが完了したもの) |
| 換金制限 | 信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込みには制限があります。 |
| 購入・換金申込受付の中止および取消し | 金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情が発生した場合には、購入、換金の申込みの受け付けを中止すること、すでに受け付けた購入、換金の申込みを取消すことがあります。 |
| 信託期間 | 2026年5月15日まで(2021年5月18日当初設定) 受益者に有利であると認めるときは、受託会社と合意のうえ、信託期間を延長できます。 |
| 繰上償還 | <ul style="list-style-type: none"> ウォルター・スコット・アンド・パートナーズ・リミテッドと締結した投資助言契約が終了し、マザーファンドが繰上償還することになった場合には、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了(繰上償還)させます。 次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、繰上償還できます。 <ul style="list-style-type: none"> 受益権の口数が30億口を下回るようになった場合 信託契約を解約することが受益者のために有利であると認めるとき やむを得ない事情が発生したとき |
| 決算日 | 毎年5月17日および11月17日(休業日の場合、翌営業日) |
| 収益分配 | 年2回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。 (注) 当ファンドには、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。 なお、お取扱い可能なコースおよびコース名については異なる場合がありますので、販売会社にお問い合わせください。 |
| 信託金の限度額 | 5,000億円 |
| 課税関係 | 課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。なお、当ファンドの非課税口座における取扱いは販売会社により異なる場合がありますので、くわしくは、販売会社にお問い合わせください。 ※税法が改正された場合等には変更される場合があります。 |

※消費税率10%の場合

■ お客さまが直接的に負担する費用

| | |
|---------|-----------------------------------|
| 購入時手数料 | 販売会社が別に定める率 (上限) 3.3% (税抜3.0%) |
| 信託財産留保額 | ありません。 |

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

| | |
|--------------|---|
| 運用管理費用(信託報酬) | 運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して 年率1.727% (税抜1.57%) |
| その他の費用・手数料 | 監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただけます。 ※「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。 |

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問い合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

委託会社

大和アセットマネジメント株式会社

受託会社

三菱UFJ信託銀行株式会社

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は大和アセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。
- 当資料で使用した画像等はイメージです。
- 当資料でご紹介した企業はあくまでも参考のために掲載したものであり、個別企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに組入れることを示唆・保証するものではありません。